

# 心ひとつに

弥富市立桜小学校  
学校だより  
No.11  
平成26年9月3日

## 図書室の管理が電子化される！

1学期の終わりから夏休みにかけて、教職員と5・6年生の児童が、図書室の本のバーコード張、書誌登録などの作業を行いました。今まで紙ベースの図書台帳に記載されていた図書の書誌登録が、電子化されるようになりました。

これにより、図書の貸し出し・返却の作業が、PCとバーコードリーダーを使って、とても迅速にできるようになりました。また、だれがどんな本を借りているかや未返却の図書も簡単に検索できるようになりました。

図書館の開館から長い年数が経っている桜小の図書室は、図書台帳に記載された冊数と実際の図書冊数の不一致が生じていましたが、この電子化の完成により、図書の管理が正確にできるようになりました。

10月からは、図書委員が貸し出し・返却の作業を担当します。短時間でとてもスピーディーな貸し出し・返却が可能となるので、今まで以上に図書室の利用者数や読書量が増えることを期待したいと思います。



## 2学期始業式の話—平成26年9月1日

平成26年9月1日

「おはようございます」久しぶりに元気なあいさつを聞くことができ、とてもうれしく思います。今年の夏休みは、ご家族や親戚の人、お友達などとたくさん思い出をつくることができたでしょうか？また、担任の先生に話してください。

さて、校長先生は、夏休みにTVでスポーツを見ていて一番印象に残ったのは、高校野球です。高校球児たちの粘り強い戦いぶりです。大差で負けていても、それをひっくり返す逆転で勝利をつかむ、そんな試合がいくつかありました。

特に岐阜県の大垣日大高校は、1回に8点も取られながら、決してあきらめず、気持ちで負けることなく、勝利をもぎ取りました。一番惜しいと思った試合は、決勝戦の大阪桐蔭高校と三重高校の試合です。校長先生は、三重県松阪市出身ですので、郷里の高校が試合を勝ち上がるたびに、その活躍に喜びを感じ、心の中でエールを贈りました。

また、軟式高校野球では、準決勝で対戦した、岐阜中京高校と広島の高徳高校が4日間で延長50回という、驚異的・奇跡的とも言える延長戦を両校が戦い抜きました。

「最後まで諦めずに頑張る」と、よく言われますが、最近のスポーツを見ていると、まさにその言葉通りの試合が見られ、粘り強い精神力、決して諦めない心、皆で力を合わせ心ひとつに戦い抜くチームワークの良さに心を打たれました。

さあ、今日から2学期です。みなさんは、学習・運動・行事などでいろいろなことに挑戦したり、競ったりしていきますが、うまくいかないときがあっても、簡単にあきらめたりせず、目標に向かって努力する粘り強さを忘れずに、最後まで頑張りぬいてくれることを願います。

そして、お友達と仲良く力を合わせて、楽しく、心に残る2学期にしていきたいと思います。